

# キッズ ふくしま インタгада

(発行)

キッズふくしまインタгада実行委員会  
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>



ペットボトルロケット飛ばし  
～池の平センターにて～



屋外プールで遊ぶ  
～ホームステイ先にて～

## 九度目のキャンプを振り返り

高田教区 第七組 浄善寺

せき たかのり  
関 隆徳

キッズふくしまのスタッフを務めるのは、今夏で3回目だった。9回目を終えたこの活動の中の3分の1でしかないが、子ども達と一緒に過ごすこの期間が自分の中で

でも力になればと思いつき取り組んだが、子どもと関わる機会が少なかつた自分は接し方が分からず、不安が大きかった。だが今は、子ども達と共に楽しい時間をすごさせてもらっている。久々に会った子ども達も「あつ、せつきーだ!」と言って近づいてくれる事はとても嬉しい。

も大切な時間になっていくと思う。昨年の夏に初めてキッズふくしまに参加させていただき、そこで福島の子も達を抱えている問題を初めて知った。自分も少し

そんな気持ちで自分を動かす力になっていくと感じる。未熟な自分だが、子ども達と共に歩み成長していきたい。子ども達が大人になっても覚えていってくれるような思い出を、このキッズふくしまで作ってみたい。

今回、キッズふくしまサマーキャンプでは、「何作ろう?あれ作ろう」というタイトルでスタッフが複数のブースを設け、子ども達が自分のしたいことを選んでしまうと日程が行われた。私が担当したブースでは、ペットボトルロケットを飛ばしたいという子が思い思いの色や形のロケットを組立て飛ばしていた。放射能の影響で遊ぶ為の場所を奪われ、遊びを制限されている子ども達に、自分のやりたい事を見つけて制限なく思い切り遊んでもらいたい。何の心配もせず、思い切りのびのびと遊んでもらいたい。今回のブースが子ども達にとつてその様な時間になっていってくれればいいと思う。



# キッズふくしまインたかだ サマーキャンプ 2015

2015年 7月30日～8月5日



池の平  
1日目 (7月30日)  
青少幼年センター到着



今回参加してくれた子どもたちは40名。  
福島県内の様々な地域から新潟までの長距離を移動してセンターに到着。ワクワクした気持ちとちょっと不安を抱えながら、バスを降りました。久しぶりの再会と初めての出会いを分かち合いながら1日目を終わりました。

## シャボン玉



2日目は新しい企画として、体験ブースを設置しました。子どもたちが自分で選んで参加してもらうという形をとり、自由に一日を過ごしてもらえようにしました。

2日目 (7月31日)  
何作ろうあれ作ろう



## 薪割りと火おこし



## ペットボトルロケット



## 輪投げ



## かき氷で一休み お好きな味でどうぞ



## ピザ作り



## 水鉄砲作り



## 皿回し

## 弓矢飛ばし



9つの体験ブースを用意しました。自分がやりたいと思ったこと、興味を持ったブースで2日目の日程を過ごしてもらいました。途中かき氷で涼をとったりもしながら、夢中になって遊ぶことができました。



3日目 (8月1日)  
ハイキング〜川遊び



池の平センターから約5キロの道のりを歩き、関川の上流「水辺の広場」で目一杯遊びました。お昼は広場でおにぎりやトン汁をいただき、午後からも元気いっぱい水と戯れて、再びセンターまで歩いて戻りました。

2日目の夜に予定していたナイトハイクは天候不順(濃霧)のため中止しました。その分、3日目の夜は花火大会で盛り上がりました。日中の疲れもなんのその!



毎朝の恒例行事の後は、横一列に並んで広場の一斉ゴミ拾い



朝もやの中、ラジオ体操をしてから朝の感話。毎朝の恒例行事です。

4日目 (8月2日)  
池の平最終日



池の平での最後の食事は、お迎えに来てくれたホームステイ先の方々も一緒に食べました。食事の後は、しばしの別れを惜しみながらそれぞれのステイ先へ出発していきました。



午前中はフリータイム。スタッフと一緒にじゃれ合う子どもたち。

最後に、スタッフのあゆさんのかき氷や、ギョウザの皮で手作りピザを作りました。  
にいがたで、たくさん思い出をつくれたのでよかったです。また、来年もにいがたでたくさん思い出をつくりたいです。とても楽しいキャンプでした。

最後はスタッフのあゆさんのかき氷や、ギョウザの皮で手作りピザを作りました。

また皿回しは、スタッフのヨッキーや和ちゃんに教えてもらったら上手にできました。

火起こしでは、さくらちゃん達といっしょに、協力して火起こしをしました。初めはぜんぜん火がつかなくて、スタッフの人にこうかんしてもらったら、火がつかしました。

佐藤 彩葉さん  
さとう いろは

いわき市 小学4年生

にいがたの思い出

# スタッフの感想

長野県 伊那市

きたはら かずこ  
北原 和子

キッズふくしまには前回の春から参加させていただいています。

夏のキャンプに参加したのは初めてでしたが、春のようにセンターの周りで遊ぶだけでなく、ハイキングもして、川遊びもして、全ての日程を全力で楽しんでくれていたことが嬉しかったです。

外に出て走り回ったり、皿回しをしたり、おしゃべりをしたりゲームをしたり、どんな所でもなんでも楽しんで遊んでいる子供たちを見て、たくましさを感じました。一日を一緒に過ごす度に、子供達が成長していた気がします。

一緒に遊ぶには体がついていない程度はしゃいで、笑って、しかしその中でも子供達も子供達なりにお互いを観察したり思いやったりしながら、センターでの共同日程を過ごしていたように思います。

ひとりで居る子を気にして話し



スリッパリレーで互いの絆を深める  
～ウエルカムパーティー～

かけたり、ちよっかいを出したり、何かあってもスタッフが気付いていない時にはすぐに教えてくれたりと、自分が楽しむだけでなくみんなでも楽しもうとしてくれていたのではないかと思います。

まだまだ不慣れな私の手を取って一緒に遊んでくれたり、色々なことを教えてくれたり、私も子供達のおかげでとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

大きな怪我や事故もなく全ての日程を終えてくれて何よりでした。次のも来る？来てね！そうキラキラした笑顔で言ってくれた子供達に、また次回、会えるのを楽しみにしています。

## 「キッズふくしまインたかだ」の活動にご協力をお願いします！

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島県の子どもたちのための保養活動です。

現地の声には、「個人宅の放射能除染が未だに行き渡っていない」、「遊び場である公園に連れて行ったり、遊ばせたりする事が不安」などという声が聞かれます。また子どもたちからも「普段遊んでいた空き地は数値高いから遊べない」、「山に入っちゃいけないって言われた」等、大人は不安からのストレスに、子どもたちは遊び場を失うストレスに悩まされる日々が続いています。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉にごまかされて思考を止め、本当の安全を追求して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトン子どもたちに渡さなければならない事に対する「ごめんないから始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ一週間という短い期間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。ご理解の程宜しくお願い致します。

合わせて運営に対しての助成、またそれに携わるスタッフの知識習得及び技術の研鑽のための助成も募っています。

～皆様からのご寄附をお願いします～

### - 郵便局からの振込 -

口座記号番号 (ゆうちょ銀行)

00500-1-101787

口座名 キッズふくしま たかだ

### - 他金融機関からの振込 -

店番 059 (ゆうちょ銀行)

口座名 キッズふくしま たかだ

預金種目 当座

口座番号 0101787

**4日目(8月2日)  
~7日目(8月5日)  
各寺院でホームステイ**

ホームステイの受け入れを行いました。その他、食事の提供や各種イベントの開催などで、多数の方々からのご協力も頂きました。

リピーターの子どもたちが多いのですが、初めて参加するという子も少なくはありません。お友だちと一緒にホームステイをするといえ、他人の家で3泊も生活をするといふことは今まで経験をしたことがないことだと思えます。とても大きな不安を抱えながらお迎えの車に乗り込んでいた様子もありました。ですがみなさん、最終日に顔を合わせた時には楽しかった思い出をたくさん話してくれました。きつとあつという間にそんな不安は飛んで行ってしまっていたことでしょう。

池の平青少年センターでの三泊四日を終え、それぞれお迎えの車に乗り込んでホームステイ先へ出発しました。今回は高田教区内寺院十ヶ寺と新井別院で



ご馳走をおいしく  
いただきました



直江津の港でフィッシング  
何が釣れたのかな?



ペットのハムスターと  
たわむれる



マシュマロ焼くとうまいんだよ



## スタッフ募集!

※ お問い合わせは事務局まで

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

~池の平会場において~

- ① 全日程通じての参加、短時間での参加
- ② 食事の準備、片付け
- ③ 子どもたちと遊びたい人
- ④ 現地への送迎

~ホームステイにおいて~

- ① ホームステイの受け入れ
- ② 資金の援助
- ③ 食事のみの提供(そば打ち、餃子、BBQなど)
- ④ 催し物や行事の提供(お講、子供会、陶芸教室、各種スポーツなど)
- ⑤ 移動の送迎サポート





夏休みの宿題に取り組む時間もありました



家族と一緒に食事を囲む



金谷山でボブスレー



海やプールにも行きました



朝のお勤めで一緒に手を合わせる



ガラス細工でアクセサリー作り



お寺の境内にて



懐かしい蚊帳の中で休みました



最終日。ホームステイの日程を終えて、全員が元気に高田別院へ集まりました。

ぼくは、キッズふくしまのキャンプに参加して、今年で5回目です。去年のサマーキャンプは参加できなかったのですが、今年のサマーキャンプをとても楽しみにしていました。

一日目はセンターに到着して、開会式を終えてから、スリッパラリーをしました。やった事がないからむずかしかったけど楽しかったです。二日目はお楽しみブースで、カヤでできた弓矢や、竹せいの水鉄砲を作りました。三日目は「水辺の広場」までハイキングをして、着いてからみんなで水遊びをしました。センターさいごの夜は花火大会をしました。打ち上げ花火をみたり、線香花火をしたりして楽しかったです。

みんなとお別れをして、ホームステイ先の金子さんの家に行きました。夜ご飯はみんなでギョウザとたこやきを作っておいしかったです。次の日はセンターで友達になった人がぎました。たくさん遊んだあと、バーベキューをしました。おいしかったです。次の日は海に行つてたくさん遊びました。水切りをして5回できたのはうれしかったです。一週間とても楽しかったです。本当にありがとうございました。また参加したいです。

サマーキャンプに参加して  
郡山市 小学4年生  
平栗 瑠斗さん  
ひらべり りゅうと

林覺寺 お寺で遊ぼう  
♪ようこそ♪



林覺寺で行われたイベント。  
近隣の子もたちも一緒に紙芝居や  
ストラックアウトサッカー、射的など  
で遊んだり、夕食ではBBQのグリ  
ルを囲んだりもしました。



えいています。  
しかしそんな私達の心配とは逆  
に、帰ってくるたびに子ども達の顔  
が清々しい顔で「次回も新潟申し込  
んで！」その都度目を爛々とさせな  
がら、楽しい出来事を最初から話し  
てくれます。

ございませう。  
今回で4年越しの9回目。長男は  
小学6年生から、次男は小学1年生  
から毎回どちらかが参加させていた  
だき、今年で長男も高校一年生、次  
男は小学5年生になりました。  
今思えば、震災後初めて長男を参  
加させたときは不安でした。高速バ  
スがいわき駅を出発する時、ふと妻  
の顔を見たら涙ぐんでいたことを覚  
えています。

## ご家族の声

### 9回目のキッズふくしまを終えて

いわき市在住

佐藤 誠記様

9回目を迎えたキッ  
ズふくしま。実行委員  
会、又そこに関わる皆  
様、いつもありがとう

私は子ども達の話を聞  
くとどんな所か気になっ  
て仕方ありませんでした。  
たまたま、前回の春キャ  
ンプに一日遅れで、長男  
と長男の友達を糸魚川ま  
で送る機会があり、いわ  
き市から片道380キロ  
を往復しました。

いわき市では震災後、  
外で遊ぶ事や海水浴が出  
来ない状態が続いていま  
す。糸魚川は、海は青く  
空気もきれいで、山には  
雪があり子供たちが毎回  
「行きたい」と言ってい  
ることが、なんとなく分  
かった様な気がしました。  
それと前回からキャンプの事前  
説明会の際、実行委員会の方々が、  
初めての方に詳しく趣旨説明をして  
くださるようになり大変ありがたく  
思っております。その後の親睦会が  
すごく楽しいです。

## ホームページを 開設しています

これまでの「キッズふくしまインたかだ」の取り組み  
今後の予定などを、たくさんの写真と共に随時アップ  
しています。ぜひアクセスしてみてください。

なお、この広報誌のPDFデータもアップしています。  
印刷・拡散いただければ幸いです。

<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

※PDFデータは  
カラー紙面です



このような機会をいただき、「感  
謝」の一言では言い表せません。ス  
タッフ及び関係者の皆様本当にあり  
がとうございます。これからも長く  
続けていただければと心よりお願い  
申し上げます。